

# 浅草 ランチマップ

Lunch Map for Asakusa

- 和食 (江戸の味など)
- 洋食その他
- お菓子・お土産
- コンビニエンスストア
- 公衆トイレ

下町である浅草には老舗の飲食店が多数点在します。浅草に着いたなら、伝統の味を味わい、江戸の文化、歴史に触れる事れてみませんか？

## 浅草寺の屋台

もし、あなたの運が良ければ、浅草寺の境内に立ち並ぶさまざまな屋台に出会えるはず。初詣やおぼつき市といった、多くの人が集まる日には、なんと200もの屋台が軒を連ねるそうです。お好み焼き、やきそば、じゃがバター、屋台で懐かしい味を味わうのも◎。



## 天ぷら、もんじゃ、

- ★ 葵丸進 (てんぷら)
- ★ 江戸もんじゃひょうたん
- ★ 三定 (てんぷら)
- ★ つるや (うなぎ)

雷門通りにのれんをあげて早60年。「葵丸進の天ぷら」は江戸浅草名物といわれています。「秘伝の天つゆ」は絶品。

数々のメディア、雑誌、報道等で人気NO1連続獲得の超人気店！飾らぬ江戸の懐かしい味と古風な店内でもんじゃ焼を！

「一に浅草、二に観音、三に三定の天ぷら」のキャッチフレーズで有名な三定。日本の天ぷらの店の中でも最も古い店です。

自慢のうなぎ料理を始め、日本料理の数々は女性客にも大好評。創業昭和6年以来、変わらない味で愛されています。

## お菓子

- ★ 木村屋本店 (人形焼)
- ★ 梅園 (和菓子)
- ★ 舟和 (芋ようかん)
- ★ 九重 (あげまんじゅう)

浅草名物・人形焼の元祖が木村家です。ハト、雷門、五重塔など浅草にちなんだ形が楽しい人形焼は、初代ご主人のアイデア。

140年間守りとおした、元祖あわせんざいの味は絶品。他にあんみつや豆かまんも大人気。永井荷風の小説の中に登場しました

舟和といえば、芋ようかん。さつま芋を一本一本手で皮をむき、芋そのままのやわらかい味に造りあげています。

プレーン、ごま、抹茶、さつま芋、かぼちゃの5種類のあげまんじゅうが楽しめる。



記載の店舗は一部の店舗です。ご紹介の店舗以外にも多数の店舗がございます。

## 1 大黒家 (天ぷら)

大黒家といえば天丼。ご飯が見えないくらい大きくどんぶりからはみ出た海老天丼が人気です。ごま油だけを使って、キツネ色に揚げた天ぷら。ちょっと締めで濃厚なタレは一度食べたら忘れられない懐かしい味がします。連日行列ができる人気店。

## 2 ヨシカミ (洋食)

「旨すぎて申し訳ないス！」の有名洋食店。数々のメディアにも取り上げられています。東京浅草の中心、終戦後の復興期にわずか10席のオープンカウンターの店として誕生。店内は、子供からお年寄りまでいつも賑わいます。

## 3 尾張屋

創業明治3年から変わらぬ人気を集めている、老舗「尾張屋」のおそばと天ぷらは今も浅草の味。厳選した素材にこだわった逸品です。

## 4 神谷バー

明治13年初代神谷傳兵衛により創業。その後明治45年日本初のバー「神谷バー」として営業を開始。名物デンキبرانは下町の人生模様そのものです。



映画「男はつらいよ」でおなじみの

# 柴又

Shibamata



撮影 SPOT

## 1 柴又帝釈天

二江戸時代初期（17世紀前半）開創された日蓮宗寺院である。18世紀末、19世住職の日敬（にっきょう）の頃から当寺の帝釈天が信仰を集めるようになり、「柴又帝釈天」として知られるようになった。帝釈天の縁日は庚申の日とされ、庚申信仰とも関連して多くの参詣人を集めるようになった。「男はつらいよ」のゆかりの寺として知られるようになる。



## 2 寅さん記念館

映画「男はつらいよ」の記念館。撮影に使用した「くるまや」のセットや、メイキングなどの貴重な映像や、実物の衣装・小道具などを観ることができます。（有料）



## 3 矢切り渡し

江戸時代初期、地元住人専用に幕府が設けた渡し場のうちのひとつ。江戸川をさはむ矢切と葛飾区柴又を結んでおり、現在も渡し舟が運行されている。都内に残っている渡しはここだけ。小説や歌謡曲で有名

## 車窓のご案内



### 東京スカイツリー

東京都墨田区押上に建設中の電波塔である。着工当初は高さを610.58mとする計画であったが2009年10月16日に高さが634mとなるように計画を変更したため、完成すれば自立式電波塔としては世界一の高さとなる。2008年7月14日に着工し、2011年12月から遅くとも2012年早春に竣工の予定。



### 両国国技館

東京都墨田区横綱（よこあみ）にある大相撲の興行のための施設。また、ボクシングなどの格闘技の試合に使われることもある。なお、番付では旧字体で國技館と表記している。現在の建物は2代目。